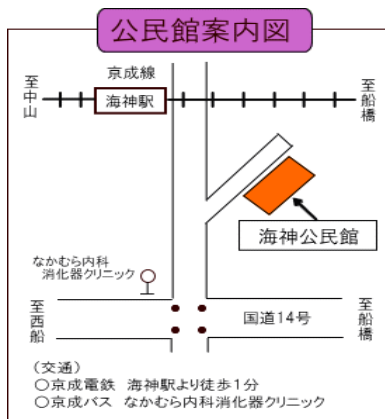


～市政報告会を開催します～

日時：平成23年2月27日（日）15時～16時半
（受付14時半～）

会場：海神公民館 講堂
（京成海神駅から徒歩1分）
※公共交通機関をご利用ください

ご来賓：藤代孝七 船橋市長ほか
（予定）
会費無料、事前申込不要です。



市政全般の問題から、地域の課題まで分かりやすくお話しします。
皆様お問い合わせのうえぜひご参加ください。

今月の駅頭活動スケジュール（原則毎朝6時～9時）

月	火	水	木	金
JR 船橋駅	JR 東船橋駅	海神駅 東海神駅ほか	JR 西船橋駅	JR 津田沼駅

※公務・急用・荒天などにより変更する場合があります。

船橋市議会議員 日色 健人（ひいろ・たけと）プロフィール
1978年船橋市生まれ 32歳 二葉幼稚園、西海神小学校、市川学園中・高を経て早稲田大学法学部卒業。サラリーマン生活を経てアメリカ合衆国西海岸を南北に貫く「パシフィック・クレスト・トレイル」全4200kmを徒歩で踏破（日本人初）。2007年4月の船橋市議会議員選挙において3457票を頂き初当選。現在1期目。総務委員会副委員長・会派「未来創造」所属
地域での主な活動：ボーイスカウト船橋第3回団委員・船橋稲門会（早大OB会）幹事、ライオンズクラブ国際協会333-Cレオ地区監査、船橋青年会議所理事、船橋市国際交流協会会員、日本山岳会会員 ほか
趣味：アウトドアスポーツ（山歩き、キャンプ、カヌー）愛読書：ヘンリー・D・ソロー「森の生活」
座右の銘：Where there is a will, there is a way.（意志あるところ必ず道あり）

発行：ひいろ健人事務所 〒273-0021 船橋市海神6-11-9
TEL 047-420-1800 FAX 047-420-1801
E-mail info@taketo2784.net http://www.taketo2784.net（活動ブログ更新中！）
ツイッターアカウント：@HIIRO TAKETO

討議資料

船橋市議会議員

日色健人（ひいろたけと）32歳の
視点・政策・活動をお伝えします

今号のテーマ

★初当選から4年

公約の達成度は？

～市民との約束を徹底検証～



たけと

ひいろ健人

船橋の論点

FUNABASHI AGENDA vol.33

友人の協力を得て、選挙ポスター用の写真を撮り、ホームページのデザインも一新しました。議員としての第一印象はもちろん、中身まで含めて好印象となるように、自分磨きを続けます。

★初当選から4年 公約の達成度は？

～市民との約束を徹底検証～

4年前の初立候補時に配布したリーフレットに、自らの「視点・政策」を掲げ、選挙戦を通じて市民の皆さんにお訴えをしてきました。ホームページには今も掲載し、自らの活動の指針としています。いよいよ4月に改選を迎えるにあたり、この4年間でどこまでその約束を達成できたか、振り返ってみたいと思います。



(斜体が初当選時の公約、★は自己評価。5つ星が最大)

■政治をもっと身近にしたい！・・・★★★★★

若い世代を中心に、「政治離れ」が進んでいると言われます。「自分には関係ない」、本当でしょうか。政治は特定の誰かのものでなく、ひとりひとりが携わってつくる、大事な仕事だと私は思います。

しかし、市民ひとりひとりに十分な情報が届いていなければ、政治を自らの問題として考えることはできません。私は、市政を市民とつなぎ、政治をもっと身近な存在にするために精一杯働きます。

→ 議会終了ごとに「市議会レポート」を毎回15,000部作成し、ポスティングや駅頭で配布を続けてきました。議会の無い月はこの「船橋の論点」を配布してきましたので(今号で33号)ほぼ毎月情報発信を続けたこととなります。

市政報告会も今年で4回目となりますが、報告会開催は年1回にとどまったこと、また費用の問題からレポートの配布も市内の一部地域にしかできなかったことなど、まだまだ力不足の面もあります。

■視点1 子育て世代の視線で市政を考えます・・・★★★★★

少子高齢化社会が叫ばれて久しく、船橋市も例外ではありません。今も昔も子供は社会の宝です。子供たちが健やかに育つ街を作るために、私は一人の父親として、子育て世代の視線で市政を考えます。また、関係機関と地域住民の適切な連携で、痛ましい児童虐待を未然に防ぎます。

→ 幼稚園就園児補助金の増額や、借地等で保育園を始める際の賃料補助制度創設など、議会活動を通じて複数の子育て支援政策が実現しました。

しかし、一向に減らない保育園待機児童や、児童虐待の問題など、まだまだ子育て環境を巡る課題は山積しています。自戒を込めて、引き続き2期目の課題としたいと思います。

■視点2 徹底した監査で中核市にふさわしい行政を・・・★★★★★

船橋市は人口57万人を数え、県内では唯一の中核市として有数の規模を誇りますが、規模が大きくなればなるほど、適切に業務が行われているかのチェックがますます重要になります。

私は、監査機能の充実と活用を通じて、効率的な行政の推進を訴えます。

→ 昨年10月から始まった県内初となる監査委員事務局への公認会計士採用など、議会活動を通じて監査機能の充実を図ることができたことはよかったと自負しています。マニフェスト大賞での受賞など、対外的にも評価されました。

しかし、任期中には幾度も市職員による不祥事がありました。結果として不祥事が減り、市政への信頼が増すところまでいかなければ意味がありません。

■視点3 思いやりある地域社会の再生を・・・★★★★

性差・年齢差・障害の有無・人種国籍など、市民の間にもさまざまな違いがありますが、同じ街に暮らすひとりひとりが「共に支えあって暮らす」意識を持つことが重要です。私は、思いやりのある地域社会の再生を目指します。

→ 評価のしにくい公約を立ててしまったものだと反省しています。あえて自己評価すれば、外国人市民への積極的な施策を訴えた22年12月議会での質問は、この公約の趣旨に沿ったものと言えるでしょうか。また、特定の世代層やグループに肩入れし、市民の対立をあおるような(たとえば「子育て支援」VS「高齢者福祉」)議論になることのないよう気をつけてきました。

■視点4 合併問題は開かれた議論で・・・★★★★★

船橋市においても、近隣市との合併が取り沙汰されていますが、政令指定都市を目指すことの是非については慎重な検討が必要だと思います。

私は、議論の過程をオープンにし、幅広い市民の意見を踏まえ合併問題の方向性を考えます。

→ 22年3月議会での質問で藤代市長から「今は新たな取り組みを行う環境にない」という事実上の凍結宣言を引き出し、合併政令指定都市問題に一定の方向性を与えることができました。私自身はこの問題には上記のとおり4年前から慎重姿勢です。基礎自治体として十分な力をすでに船橋市は持っているのですから。

振り返ってみると、それなりに公約に沿った議会活動を続けてきたと思いますが、いずれも道半ばであることに違いありません。初心を忘れず、市民との約束を果たし、市政に貢献したい。その思いを胸に、改選に臨みたいと思います。